

読書バリアフリー研究会 アンケート回答

日 時 23年6月25日(土) 午前10時00分～午後4時00分

会 場 広島県情報プラザ

参加者 71名/アンケート回収52名

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・広報誌	0	
DM・ちらし	8	
友人・知人の紹介	7	
ウェブサイト	2	当財団 HP1
メーリングリスト	2	読書 UD1
公共図書館協会からの案内	20	
館内案内	3	
その他	10	学校 4、図書館 3、職場 2、広島県生涯福祉課
未記入	1	
合計	53	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
40	13	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由

- ・ 色々な知識を得ることができました。
- ・ たくさんの具体例がたいへん参考になりました。
- ・ 今日のような情報が得られる機会は少ないので勉強になりました。
- ・ 幅広い分野、担当者の話が聞いて大変参考になった。すぐに生かせそうな内容も多かった。
- ・ もう少しゆとりがあれば。でも盛りだくさんで勉強になりました。
- ・ DAISY について知ることができて良かった。使い方が多様なのでいろいろな楽しみ方があると思いました。タブレットの活用の仕方を学べたので良かったです。
- ・ 図書館でのバリアフリーについて、知らないことを多面的に教えてくださり、ありがとうございました。一步一步はじめていきたいと思えます。
- ・ 図書にたずさわる仕事をしていないので、新しい視点、考え、取り組みに触れることができ参考になりました。
- ・ 視覚障害者当事者の話や養護学校に勤務していた方の実体験を聞くことができ、現実味があり良かった。
- ・ 一人一人に適した本の提供をしていかなければならない、と思い、本にはまだまだ伸びしろがある、ということが分かった。
- ・ 今日はありがとうございました。様々な立場の方のお話を聞くことができ参考になりました。書籍を紹介していただいたり、実際触れてみたりすることができたので良かったです。

- ・サピエ図書館、ICT活用法など、全く知らなかったことをたくさん教えていただきました。特に最先端のICT活用についてはもう少し聞きたく（演習したく）思いました。
- ・今日はいろいろな先生方のお話を伺い大変勉強になりました。すぐに試したいと思ったことが何点もあり、楽しみでワクワクしております。
- ・それぞれの立場からの具体的事例を中心にした内容で大変参考になりました。デイジー子どもゆめ文庫、読書工房、りんごの棚、わいわい文庫、サピエ、障害者サービスについて、実際に知識を得ることができ、有意義でした。
- ・実際の音声や活動の画像が、具体的に見ることができてイメージしやすかったです。大変参考になりました。わいわい文庫など初めて知るものでしたので、これからの活動の参考にさせていただきたいです。
- ・知らない情報が多々ありましたので、参加して勉強できたことはよかったです。ただこのようなサービスについては、県市として批准しているところは多いですが、担当部署におりてくると具体的に進んでいないのが全国的だと思います。人も予算もつけて具体的サービスにしてほしいと思います。
- ・色々な分野の方のお話を幅広く伺えたから。
- ・ICTの紹介や実際にいろいろな本の展示もあり解りやすかった。
- ・様々な分野の専門家の先生が知らなかったことをわかりやすく教えてくださった。豪華な講師陣なのに無料だった。
- ・広瀬先生…お話を初めて伺いました。興味深く楽しいお話でした。
- ・成松先生…「りんごの棚」を作りたいと思いました。大変分かりやすかったです。「様々な人から声を聴く」大切にしたいと思います。
- ・漆原先生…会計年度職員司書ですが、心強いお話でした。
- ・平林先生…わかりやすい説明をありがとうございました。ホイール印刷します。HP、YouTubeも勉強させていただきます。
- ・終日大変勉強になるお話を聞かせていただきありがとうございました。
- ・様々な分野の方からお話を聞くことができ良かったです。当事者や現場での活動の中で想われたこと、考えられたことを教えていただくことで、自己の仕事の知識や活動に役立てることができるそうです。
- ・障害者といっても、その障害は一人一人個人差があり、画一的なサービスでは、とりこぼす可能性があることを改めて気付かせてもらった。オーディオブックについては、聞いたことがあるが、手話DVDなど、まだ知らなかったもの、マンガが聴覚障害者などにも愛読されていることを気付かされ、図書館で所蔵することに否定的な意見もあるが、考え方を改めるべきではないかと思った。
- ・公共図書館の特別研修に参加させていただきありがとうございました。学校司書として研修を受けることがなく、仕事の幅を広げることができたと考えます。読書バリアフリーもいろいろな形でサポートしてあることの実態を知ることができました。たくさん資料をいただいたので改めて読み直してみようと思います。子どもたちと関わる中、グレーの子どもたちを見極め、バリアをとりのぞいて生きやすい世の中にしてあげないといけないと思った。
- ・普段は聞くことができない内容の話聞くことができ有意義は時間だったから。タブレット端末を活用する学習サポートの可能性について話を聞くことができたから。
- ・来館できる人への合理的配慮は日々の業務で意識はしているが、それ以外のサービスに関する知識はおぼろげにしかなかった。今日の研修で幅広く知ることができたし、様々な人が努力していらっしやることを知り希望を持てた。
- ・漆谷先生のお話はためになりました。司書でないのに図書室を任されているので。他の業務が多く図書室での作業はほとんどできませんが、参考にさせていただきたいと思いました。

- ・平林先生のお話は ICT を用いた活用が分かりやすかった。
- ・午前中の講義から図書館に様々な種類の本を蔵書とすることの意義を学ぶことができた。学校図書館には常々様々な子どもに対応した本が必要だと感じていたので、今日のお話を元に機会があればお伝えしていきたい。また、午後の講義では学校でどのようにそのような本を活用していくか、さらに特別支援の視点だけでなくユニバーサルデザインとしてどのような読書指導ができるか、ヒントをいただけてよかったと思う。
- ・読書バリアフリー対応を具体的にどうすればいいか困っていたので、たくさんの実践例を紹介しいただいて参考になりました。特別支援の必要な中学生にどう読書サポートをすればいいかも悩んでいたのも、わいわい文庫の活用を学校に進めたいと思います。
- ・純粹に問題を解決しようとし、実践されている人による話ばかりだった。先生よりも先生であった司書さん。特別支援学校の教員、顔負けです。私は元県外者なので広島に住んでいるだけでも驚きの日々なのですが、県や国のトップ次第…もしくは個の力次第で、こんなに違うのかと。
- ・どの方のお話も面白かったです。初めて知るサービスがたくさんありました。また点字の実物を見たことなかったのですが、今回触ってみることができてよかったです。ほとんどの講演で実演までしてくださっていたので「本で読んで存在を知っている」だけの理解から一步進むことができました。
- ・読み書きに不便を感じている子どもたちに対して、デジタルでの対応が進んでいることを知ることができました。普及が進んでいくことを願います。
- ・広瀬先生のお話を直接聞く機会を設けていただき感謝します。
- ・広瀬先生のお話より「音の固まりが体に直接入ってくる」「音で聞くとその世界に入っていく」深い読書体験が得られることについて、大変興味深い学びとなりました。主体を読者、本自体に置き、自分の体に視覚以外に様々な感覚があることへ意識し、ほかの価値観や世界を広げる読書（ロー読）を広げたいと思いました。
- ・漆谷先生の熱い授業事例は大変勉強になりました。職場で実践したいと思います。
- ・平林先生のディスレクシアホイールはユニバーサルに活用できるので、すぐに生徒、先生方へ伝えたいと思います。利用対象を「この障害を経験したことのある人」という認識に変え、今後このように表現しようと思いました。
- ・知的特別支援学級を現在担任し、児童の文字への困難さを解決する方法についての情報を求めて参加しました。ⅢやⅣで、有益な情報が得られました。自分自身は ICT が得意ではないのですが、児童に何が有益であるか、いろいろ試してみたいと考えています。
- ・今年度、自分が担当する業務に関連する内容だったので、知識を増やすという目的で参加しました。これまでの自分がいかに狭い世界で、狭い視野の中で生きてきたかということを実感しています。すべての子どもたちが読みたい本を読めるように、社会には様々な仕組みや工夫があると知ったので、“苦手を克服させる”のではなく“できる方法でやる”という視点を大切にして、今後業務にあたりたいと思います。
- ・私は広瀬浩二郎さんの大ファンで、講演されるということで参加しました。期待通りのお話でとても満足できました。主催者の方の先生への対応を見ていると、視覚障害者と日常的に接する機会が少ないのかなと感じました。そういう意味でも広瀬先生が講師で来られたことはよかったと思いました。
- ・本等の情報から知っていたこともありましたが、実際にいろいろな方の話を聞くことによって、さらに深く知ることができました。バリアフリーの書籍や、機器等の情報も充実してためになりました。自分のできることから、取り入れていきたいです。「りんごの棚」親しみやすい名称で、取り入れやすいと思いました。
- ・児童生徒及び教職員が利用する施設として、以前よりバリアフリー図書、コーナーづくりに関心がありました。講師それぞれの立場、現場の状況をふまえた講座でしたので、これから作っていく上でとても参考になりました。

- ・ 広瀬さんには、視覚障害者の視点から自らの図書館との関わりを、ユーモアをまじえてお話しいただき、楽しく聞かせていただきました。人を感じられる、人と人が触れ合えることの重要性を改めて感じました。漆谷さんの学校図書館でおこなってこられた活動内容には大変興味深く、子どもたちの寄り添った対応をされていると思いました。また、バリアフリー図書や、読み書き障害のサポートに関するアイテムについて、最近の情報を詳しく教えていただきました。すべての方々に読書の喜びを提供する手助けができるように、今日学んだことを生かしていきたいと思いました。読書サポートについて考え方を見直すきっかけをいただいたと思います。
- ・ 読書バリアフリーに対する考え方や取り組みの状況を多面的に知ることができた。私は学校司書ですが、特支担とともに参加し、今後の取り入れ方など共有することができて有意義だった。展示もあり良かった。
- ・ 未記入（1）

やや満足の理由

- ・ 毎回専門で携わっておられる方のお話を直に聞けるので興味深く聞きました。
- ・ タブレットを利用することで、障害の子にも同じように本を読んだりすることができるのが分かった。今後利用できるアプリが分かりました。
- ・ 障害のある子どもをサポートするアプリが色々あることが分かった。理解を深めて図書館に来館される利用者から相談を受けたときに答えられるようにしたい。
- ・ 読書バリアフリーというテーマでたくさんの貴重な講話を無料でお聞きすることができ、とても良かったです。各講師の先生方ありがとうございました。
- ・ 公共図書館における取り組みや、何から始めるべきか、学校図書館側が公共図書館から受けたいサポートがあるのか（課題など）聞いてみたかった。
- ・ 多方面から貴重なお話をきかせていただき、ありがとうございました。業務の参考にさせていただきます。レジメの字が小さいのが残念でした。
- ・ 特に広瀬先生、漆谷先生の講演は興味深く聞かせていただきました。それぞれがこれまでに起こった取り組みへの考えを参考に、当方も読書バリアフリーの推進に加わることができればと思います。
- ・ それぞれの講師の方のお話は、とても興味深く参考になりました。時間が決まっているので仕方ないですが、もう少し話を聞きたいと思いました。
- ・ 広瀬先生のお話や、ユニバーサルについて、いろいろな取り組みが大変参考になりました。ICTで解決（選択肢を増やす）ことも大変感銘を受けました。
- ・ 公共図書館利用につながる学校図書館利用の仕方を考える良い機会となりました。読書バリアフリーに関する取り組みに大変興味を持ちましたが、学校現場では司書教諭と学校司書の役割が十分に果たされていない実情があるため、読書バリアフリーはまだ先の話となってしまっていると感じます。学校関係者が集まる研修会でも同様な研修をおこなっていただきたいと思いました。
- ・ 講演内容はいずれも大変充実し、勉強になりましたが以下の点が気になりました。
 ①時間の大幅超過：提示されているスケジュールにしたがって当方も予定を立てているため、困惑しました（含：休憩時間の短縮） ②ICT提示の不具合：事前の接続確認等、よろしく願います。確認してもうまくいかないことがあるのは承知していますが、スタートからして定刻通りではなかったのが残念でした。 ③公共図書館の障害者サービスについては資料配布のみでよかったのでは。資料の読み上げに終始していたため。広瀬氏の質問内容こそ当事者の言葉で語るべきだと思います。
- ・ 座学が長かったので集中力を保つのが難しかったです。間に何か体験などを挟んでいただくとありがたいです。
- ・ 少し時間に迫られていた。ただ実のある話を聞かせてもらいありがとうございました。
- ・ 未記入（1）

3. 今後ご希望される講座内容や講師、その他お気づきの点がございましたらお聞かせ下さい。

- ・色々な分野での講師の方のお話を聞いてとても有益でした。
- ・多くの学びの機会をいただきありがとうございました。
- ・また来年も開催してくださることを希望します（ぜひ演習も交えてください）。
- ・この分野に関してまだ詳しくありませんので、また興味深いものがあれば参加したく存じます。
- ・若い世代の障害を持つ方の話も聞いてみたいです。
- ・とても勉強になりました。
- ・貴重な学びの機会をありがとうございました。
- ・とても有意義な研修会でした。
- ・とても貴重な機会ですし、多くの熱心な方がいらして励まされました。
- ・もう少しゆっくり講師一人一人の方に時間を取ってお話を伺いたいですね。
- ・プレゼン環境を最適にして講義が聞きたかった。
- ・学校現場の実践（漆谷先生）をもう少し詳しくお聞きしたかったです。時間が足りませんでした。
- ・充実した内容でしたが、多少長かった。
- ・成松先生の講義が分かりやすく、再度お聞きしたい。
- ・著作権について。原口直さんの講演。
- ・野口武悟先生。濱口瑛士さん。
- ・できる限りいろいろな方（ジャンル）のお話を聞いてみたいと思います。
- ・学校で使われている学習アプリの活用方法（読み書き苦手な子どもは使えない）
- ・「DAISY 図書・再生機器について」わかりやすい資料があれば良かった。わかりにくかった。
- ・後方の通路側で受講していましたが入口が開いていたので廊下でのスタッフの方の話し声が聞こえてきて残念だった。
- ・講師の方の時間を厳守していただくようお願いしておいてほしい。
- ・バリアフリーに関する講座では、当事者の方から生の声が聴けることは大切だと思います（事例も含めて）。読むこと書くことをサポートしていく上でも、もっと声を聞くことができればと思います。
- ・大変役に立つ内容の研修会でした。今後もまた実践的な内容をよろしくお願いします。
- ・個人的に、スライドを見ての講座を広瀬先生はどう感じたのか気になりました（午前中時点での感想）。バリアフリーの講座なら見えない人がいるなら、様子を伝えるサポート（ボランティア）がいても良いのではと思いながら聞いていました。
- ・特別支援学級の子どもたちへの読み聞かせについて具体事例を交えて、紹介する講座。
- ・電子図書を図書館に導入することに向けた準備と導入後の取り組みについて事例を交えて。
- ・デジタル図書館を全町民に開放した熊本県高森町の事例紹介。
- ・今回の講座はどの先生方のお話も大変興味深く発見や気づきのあるものでした。特に広瀬先生のお話はまた別のテーマで例えば、企画された展示等についてお話を伺ってみたいと思いました。
- ・それぞれの先生だけで1つの講座の企画もあると嬉しいです。もっとゆっくり聞かせていただきたいと思いました。
- ・漆谷先生の取り組みに参考になるものが多かった。学校図書館でのバリアフリー実践者の取り組みをもっと聞いてみたい。

- ・学校現場の ICT 活用を知らないまま、学校から読書支援について質問が来るので、今回の学びプラネット平林さんのお話は参考になりました。理解できていないので実際にワークするような講座もあれば…。
- ・様々な本を実際に活用している方々から、本日のように直にお話を伺えると良いなと感じた。どんなところに不便を感じているか、どうなるとより良いと思うかご意見を伺ってみたい。可能であれば外国籍の方にもお話を伺ってみたいと思う。日本語学習（教育）と図書館の関りについてもお聞きしてみたい。
- ・元教員としてはアプリがどのように使うことができるか、こんなにも分かりやすく紹介されるのは夢のようなお話。ICT について勉強する機会もなく、探して見つけるなんて到底無理なので、私も GIGA、ICT には恐怖しかなかったですが、生徒にとって有効な機能があんなにあるとわかれば、希望が持てます。
- ・障害を持つ人の図書館利用という意味でも広瀬先生のお話は貴重だったと思います。今後とも肢体不自由の方、ろうの方等、障害を持った方にとっての図書館の利用方法が知りたいです。
- ・野口先生の講義を聞いてみたい。
- ・筆者や出版社がどういった想いや方向性を持って本を作られているのかを知る会を定期的に開催していただきたいです。できれば各市に場所をかえながらが良いです。子どもの読書を支援する新しい取り組みを網羅的に教わることが、年 1 回程度のペースであるとうれしいです。
- ・特に平林先生のお話は大変参考になることばかりでした。ICT の進んでいる学校とそうでない学校、また、社会的障壁を自らが作っていることに気づかない学校など、温度差があります。でも大切なのは目の前の子どもたちなので、実態に配慮して ICT の利用を進めたいと思っています。お話は NHK for school を見ていましたが、ダイジー図書も見てみたいです。
- ・読書バリアフリーを学校図書館に取り入れている実践について、もっと詳しく知りたかったです。また、その成果と課題を踏まえて、伊藤忠記念財団さんは、どのような取り組みをおこなっておられるのかを知りたいです。学校だけでなく、家庭での実践についても詳しく知りたいです。読書の可能性の広がりを感じることができ、大変勉強になりました。
- ・未記入（29）